

アドベンチャートラベル販売促進事業仕様書

1. 事業の件名

アドベンチャートラベル販売促進事業委託業務

2. 事業の概要

(1) 事業の目的

観光立国推進基本計画で掲げられたアドベンチャートラベルは、地域への経済波及効果が高く、持続可能な観光との親和性も高いと言われている。四国においては、アドベンチャートラベルの3つの要素とされる自然、文化体験、アクティビティのどれもが多様かつ高い質を有しており、アドベンチャートラベルをフックとしてインバウンドに訴求するポテンシャルは高い。

当機構においても、四国のアドベンチャートラベルのプロモーションに注力しており、2023年9月には北海道で開催されたATWS2023に出展し、四国遍路を中心にアドベンチャートラベルの舞台としての四国の魅力を発信した。

本事業では、2023年度に引き続き、四国でのアドベンチャートラベルを得意とするランドオペレーターと連携してATWS2024に出展し、世界中から参加する旅行会社に対して商談を行い、四国の旅行商品造成を促し、アドベンチャートラベルの目的地として四国への一層の誘客促進を図る。

(2) 実施主体

一般社団法人四国ツーリズム創造機構

(3) 対象市場

欧米豪が中心となるが、限定はしない

(4) 誘客対象

アドベンチャートラベルを嗜好する高知識・高所得者層

(5) 連携先

四国でのアドベンチャートラベルを得意とするランドオペレーター各社

3. 業務内容

(1) ATWS2024 への出展

①ATWS2024

開催時期：2024年10月7日（月）～10日（木）

開催場所：パナマ

②内容

- a) JNTO が設ける Japan ラウンジ内での四国テーブル設置・装飾・撤去、運営管理、各種手配及び手続、運搬、事務局への対応を行なうこと。
- b) 四国の誇る自然、文化体験、アクティビティ等のアドベンチャートラベルコンテンツを中心に訴求する商談を行い、旅行商品の造成を働きかけるとともに、販売を行うこと。
- c) b) に記載の商談を実施するため、四国のアドベンチャートラベルコンテンツに精通し、アドベンチャートラベルの旅行商品の造成または販売経験の豊富なスタッフを配置すること。受託者のスタッフは2名で参加することを必須とし、委託費内あるいは受託者の負担であれば3名以上を配置しても差し支えない。委託者は同行しない。
- d) 日本から出展ブースまでパンフレット等を輸送すること。ただし、映像やデジタル資料を積極的に活用することとし、紙の資料は最低限で差し支えない。
- e) Japan ラウンジ内での四国テーブルの装飾は、JNTO が施す基礎施工・装飾がされており、B to B の商談会であることから、必要最小限の装飾で差し支えない。ただし、当機構のLバナースタンドは設置すること。
- f) 商談はマーケットプレイスに出展するだけでなく、参加者同士のマッチングに利用する公式アプリ「ATTA コンパス」等を活用のうえ独自にネットワーキングを行い、マーケットプレイス以外の時間も商談を行うこと。
- g) 四国テーブルへのウォークインへも対応し、商談を行うこと。ウォークインであっても、相手がバイヤー（旅行会社）であればKPIに通算する。
- h) インバウンドとアウトバウンドの両方を手掛ける旅行会社がセラーとして登録・出展していた場合でも、四国への送客可能性があれば、バイヤーとの商談としてカウントして差し支えない（商談相手の名簿上の分類はバイヤーに限定しない）。
- i) ネットワーキングの機会の1つとしてDOA（Day Of Adventure）は参加することが望ましい。
- j) メディアコネクトに参加すること。その場合の、商談件数の目標を提示すること。
- k) 受託者の商品のみでなく、四国でのアドベンチャートラベルを得意とするランドオペレーターの商品・セールスツールを持ち込み、PRすること。ツールの受け渡しやPR方法等については、直接調整を行うこと。具体的な事業者については、契約後に委託者から指示する。
- l) 商談相手に対して当機構が準備するノベルティを配布すること。
- m) 商談相手に対して当機構の海外メディアへの支援制度について案内すること。
- n) 商談相手の情報（旅行会社名、担当者名、メールアドレス）については、商談相手の承諾を得たうえで委託者に提供すること。情報の活用目的は、委託者が四国の観光情報を発信するメールマガジンを配信するなど、今後の四国への誘客拡大のためと説明すること。

（２）旅行商品造成

ATWS 閉会后、商談を行った相手旅行会社等へフォローアップを行い、対象市場に訴求力が高い旅行商品の造成を働きかけること。

- ① 造成件数は５件以上とすること。
- ② 造成した旅行商品は今年度中、早期に販売を行える体制を整える（OTA や自社 HP、商談相手のHPで販売する）。

※旅行商品とは以下のような旅行商品を対象とする。

【募集型企画旅行/ オーダーメイドツアー】

- ③ 旅行商品は継続的に販売することとし、実施期間終了後の実績についても、委託者からの報告依頼に対し、可能な限り追跡調査の上、報告すること。

（３）対象経費

① 出展にかかる費用

- ・参加料（ATTA のビジネス会員料金）２名分 \$ 3,798
- ・Marketplace テーブル １枠 \$950

※ATTA 年会費は対象外とする。

※メディアコネクト及び DOA、Japan ラウンジへの参加については、費用は不要。

② 渡航費用

※海外旅行保険に係る経費は受託者の負担とする。

- ③ 商談会事前準備に係る費用（事前リサーチ及びマッチング、商談ツール作成、タリフ・パンフレット輸送に係る費用等）
- ④ 出展ブースの設置・装飾・撤去、運営管理、備品購入等に係る費用
- ⑤ 商談会後のフォローアップ（商品造成働きかけ、進捗管理）費用
- ⑥ アンケート実施、取りまとめ、報告書作成費用

４．留意事項

（１）企画提案における留意事項

- ①基本コンセプト、業務の進め方、スケジュール、業務の実施体制、円滑な運営に資する施策について明記すること。
- ②留意事項で求めている事項については、必ず企画提案内容に含めること。
- ③再委託の有無を記載すること。（ただし、発注者側の承諾を要するものに限る。）また、再委託する場合は、再委託先の事業者名、住所、金額、再委託する業務範囲を記載すること。
- ④経費見積りは、それぞれの項目・単価等を具体的に明らかにした積算内訳とすること。
単価×数量で記載できる項目について、内訳を記載することとし、「一式」表記は基本

的に認めない。

- ⑤付加価値税については、還付制度の最新状況を確認し、適切に処理すること。見積書、請求書等において、還付対象となる項目及び税額を明確にしておくこと。還付請求を行い還付が発生した場合は、委託金額から控除すること。還付請求を行わない場合はその理由を四国ツーリズム創造機構に書面で事前に報告し、了解を得ること。
- ⑥ATWS の公式プログラムが判明した時や JNTO から Japan ラウンジの詳細が示された時は、その内容に応じて仕様書の内容を変更する可能性があることを予め了知すること。

(2) 事業実施における留意事項

- ①実際の業務の実施にあたっては、(一社)四国ツーリズム創造機構の指示に従うこと。
- ②目標値と成果を(一社)四国ツーリズム創造機構の指示に従い随時報告すること。
- ③翻訳にあたってはネイティブチェックの体制を明確にし、誤字・脱字や単なる逐語訳ではなく、現地で違和感のない内容とすること。

(3) 目標と成果指標

・アウトプット

マーケットプレイスでの旅行会社商談件数：10 件以上

マーケットプレイス以外での旅行会社商談件数：25 件以上

ただし、商談件数にメディアとの商談は含めない。

商談先旅行商品造成本数：5 件

・アウトカム

(予約) 販売件数：10 件

(予約) 販売額：500 万円（1 商品 50 万円程度を想定）

5. 履行期間

契約日から 2025 年 2 月 28 日（金）まで

6. 成果物

(1) 業務実施報告書

- ①実施報告書（A 4 版カラー冊子）3 部※日本語で作成すること。

実施報告書には商談件数、商談相手、商談内容、その後のフォローアップの状況及び上記 4.(3)目標と成果指標の達成状況を記載すること。

※実施期間終了後、一定期間は報告書記載内容の修正を指示した場合は、対応すること。

- ②電子媒体 2 部

電子媒体は CD 又は DVD とし、Microsoft Office において編集可能ないずれかのファ

イル形式及びPDF形式の両方で保存するものとする。

③大容量でない場合、メールでの提出も認める。この場合、①と②の提出は不要。

(2) 成果物の著作権及び所有権

成果物に関する著作権(著作権法(昭和45年法律第48号)第21条から第28条までに定める全ての権利を含む。)及び所有権は、(一社)四国ツーリズム創造機構に帰属するものとする。

以上